

あべともこニュース

平和といのちをしつかりと伝え、守り抜く春に。

◆原発避難計画は、やっぱり絵に描いた餅！

2月27日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、「原子力災害時の屋内避難の運用に関する報告書案について」原子力規制庁にヒアリングを行いました。

昨年元旦の能登半島沖地震では、原発周辺からの避難は、そもその道路が寸断され不可能な経路であることが明らかに。宮城県女川原発の場合、避難時に原発を通らざるを得ない方もおられ、被ばくを避けられない経路が策定されてしまっており、複合災害時の避難計画が蔑ろな評価とされています。

6日、党政策グループ「国のかたち研究会」で講演された「原発を止めた裁判官」樋口英明氏も「原発の安全性に絶対はない。想像を超える自然災害に、なぜ、原発は安全と言えるのか」と警鐘されました。原発施設が戦闘に巻き込まれる等、安全保障・テロ対策の面からも原発ゼロを進めていくべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
 当選9回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともここども
 クリニック（湘南台）理事長
 現在、環境委員会
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
 公式X (旧Twitter)
 @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

◆“女性の声が政治を変える！”
 9日、国際女性デーに合わせての街宣活動を藤沢駅にて開催。党神奈川県連シンダー平等委員会所属女性議員を中心に、多くの仲間が集まりました。国際女性デーは、1904年米・ニューヨークで女性の参政権を求めたデモが起源となり、1975年3月8日に制定されました。既に1913年には、第一次世界大戦でのロシア兵の戦死をめぐり、ロシアの女性たちが3月8日「国際女性デー」のデモを実施し、戦争への抗議などにつなげたという歴史もあり、どの時代もいのちと平和を守ろうと立ち上がったもの。愛や幸福、感謝を象徴するミモザを手に、私たちの目指す社会を訴えました。



◆春の訪れーひな祭りを「はしご」です。
 3月3日は、桃の節句。春の訪れとともに各地のひな祭りを楽しみました。宮原コミュニティ、一之宮八幡宮、遊二自治会館、旧桔梗屋さん（有形文化財）等々それぞれ作り手の想いや技術、時間が込められており、形、素材、表情もさまざま。時代や場所により変化してきたものや、古い歴史がありながら今もなお美しさをもつ人形達に出会い、それらをお大切にしてき方々への思いを感じることができました。

色鮮やかで華やかなひな人形たちの協演にうっとりし、春の風に桃の香りがしました。日本の伝統行事を知り、風習を未来へ繋げていく事の大切さ、あたたかな思いに触れる事ができた素敵な日となりました。
 “三寒四温”が続くこの頃。藤沢市では8日夜に、雪がうつつすらと積りましたが、春本番はすぐそこ。季節を感じながら新年度も新たな気持ちで活動して参ります。

